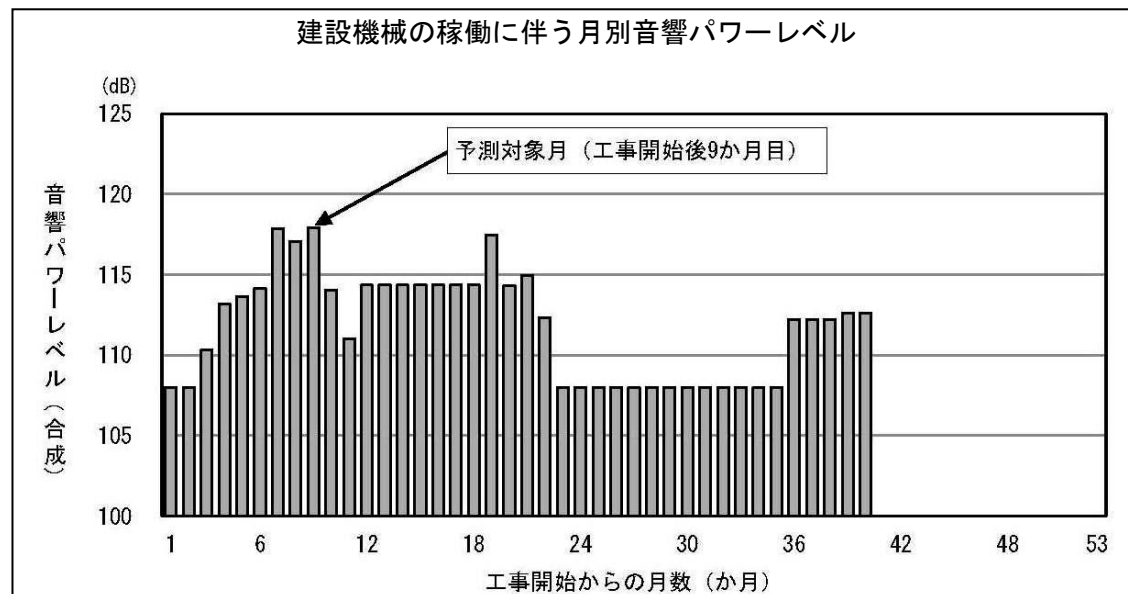


工事中の騒音の予測について

【通常作業時の騒音・振動について】

平成 23 年 12 月 6～7 日に実施した、知多第二火力発電所敷地境界（通常運転時）における騒音・振動の測定結果では、集合煙突近傍の敷地境界における時間率騒音レベル（ L_{A5} ）の測定結果は 69～70dB、時間率振動レベル（ L_{10} ）の測定結果は 56dB であり、このような状況下でハヤブサは生息し、繁殖行動も示しております。

【リフレッシュ計画における工事中の騒音予測について】



工事計画に基づき、工事期間中における建設機械の稼働に伴う音響パワーレベルの月別合成値が最大となる時期（工事開始後 9 か月目）を予測対象月としました。

建設機械の稼働位置及び諸元（工事開始後 9 か月目）

区分	稼働位置	建設機械名	規格	稼働台数 (台)	パワーレベル (dB)	
新設工事	立坑工事	ラフテレーンクレーン	50t	1	108	
		高圧噴射攪拌用掘削機	11kW	1	96	
		超高压ポンプ	55kW	1	84	
		空気圧縮機	7.5m ³ /min	1	105	
		発動発電機	100～300kVA	2	102	
	シールドトンネル掘削設備工事	バックホウ	0.7m ³	1	101	
		ダンプトラック	10t	5	102	
		ラフテレーンクレーン	25t	1	108	
		パイプロハンマ	60kW	1	110	
		コンクリートミキサー車	10t	1	110	
		コンクリートポンプ車	90～110m ³ /h	1	105	
	工事ヤード舗装工事	発動発電機	200kVA	1	102	
		タイヤローラ	10t	1	104	
			アスファルトフィニッシャー	95PS	1	108

注：稼働位置の記号は、右に示す予測結果図に対応しています。

